

うまい汁は吸わせない！

アカヒゲ退治に
粒剤登場！

ドリフトの少ない
粒剤タイプで

スバツとカメムシを防除！



アカヒゲホソミドリカスミカメ

キラッと輝く新殺虫力

キラツプ® L粒剤

新登場

- カメムシ類、特に最近問題となっているアカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメに対して優れた効果を示します。
- 水田の主要な天敵であるクモ類に対して影響は少なく、アメンボに対してもほとんど影響はありません。
- 人畜毒性は普通物で、魚毒性も低く安全性の高い薬剤です。



農林水産省登録第21930号

※取扱所—おなじみの ®は登録商標 (F-1106)



Bayer CropScience

特長

- 1 近年問題となっているアカヒゲホソミドリカスミカメをはじめとした、カスミカメムシ類に特に優れた効果を示します。
- 2 散布適期幅が広いので使いやすい薬剤です。
- 3 長い残効性を有しているため、安定した効果を示します。
- 4 粒剤タイプなので飛散による周辺作物への影響の少ない薬剤です。

■ 適用害虫の範囲および使用方法

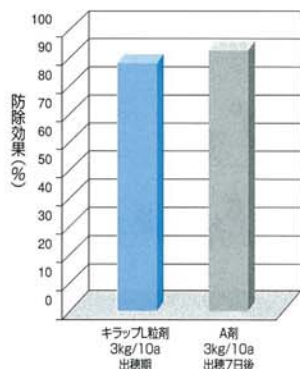
(2007年8月現在の登録)

作物名	適用害虫名	10a当り使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	カメムシ類	3~4kg	収穫14日前まで	2回以内	湛水散布
	ウンカ類	3kg			

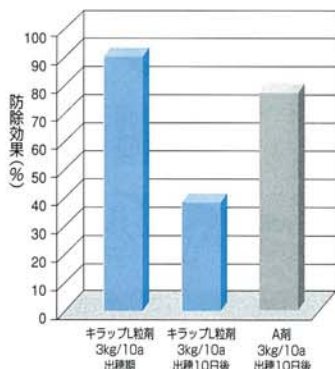
■ 上手な使い方

● 出穂期が散布適期です。

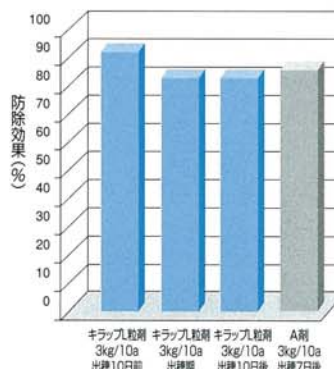
■ キラップL粒剤のカメムシに対する効果 (委託試験成績抜粋)



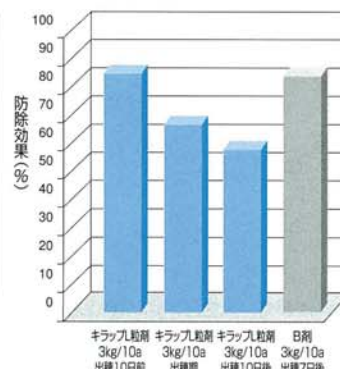
試験機関：北海道中央農業試験場
主要カメムシ種：アカヒゲホソミドリカスミカメ
試験場所：北海道岩見沢市
処理月日：平成16年7月30日(出穂期)、
対照薬剤は出穂7日後
調査月日：平成17年9月16日
調査方法：30株を刈り取り、精玄米9000粒について斑点米を調査した。



試験機関：秋田県農業試験場
主要カメムシ種：アカヒゲホソミドリカスミカメ
試験場所：秋田県秋田市
処理月日：平成17年8月1日(出穂期)
8月11日(出穂10日後) 対照薬剤は出穂10日後
調査月日：平成17年9月20日
調査方法：20株を刈り取り、精玄米約
20000-30000粒について斑点米を
調査した。



試験機関：山形県農業試験場
主要カメムシ種：アカヒゲホソミドリカスミカメ、
ホソハラカメムシ
試験場所：山形県山形市
処理月日：平成16年7月23日(出穂10日前)
8月2日(出穂期)
対照薬剤は出穂7日後
調査月日：平成17年9月16日
調査方法：30株を刈り取り、精玄米20000粒
について斑点米を調査した。



試験機関：岩手県植物防疫協会
主要カメムシ種：アカスジカスミカメ
試験場所：岩手県岩手郡
処理月日：平成16年7月27日(出穂10日前)
8月7日(出穂期) 8月16日(出穂10日後)
対照薬剤は出穂5日後
調査月日：平成17年9月23日
調査方法：30株を刈り取り、精玄米約40000-
50000粒について斑点米を調査した。

■ 注意事項

(1) 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。

(2) ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。

- ① ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
- ② 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めること。

(3) 空袋は圃場などに放置せず適切に処理すること。

(4) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。